

教員免許状更新講習 2015

報告：中井 弘一

特集

講習 1：発信型の英語コミュニケーション能力の育成

講習 2：指導技術スキルアップ演習：発音・音読指導と音声素材の教材化・学習補助教材作成の工夫

講習 1 8月3日(月)

担当：東條加寿子、中井弘一

■講座のねらい

第一部では、効果的に伝える発信型の英語コミュニケーション能力育成にあたっては、ジャンル分析の考え方が役立つ。ジャンル分析では、まず、発信の対象と目的を明確にし、次に、どのような表現パターンが用いられているかを分析する。天気予報、新聞記事、広告文、メールなど、生徒たちにとって身近なジャンルを捉えて、効果的な発信の仕組みと工夫を考える。

第二部では、問題解決能力の育成するため「問題の定義－現状の理解－原因の分析－方策の決定・実行」というプロセス・シナリオを描きそのビジョンを相手に説得することを目的とする発信型のコミュニケーションとして、効果的に英語のプレゼンテーションを行うための基本的なスキルを紹介し、即興のプレゼンテーションを通して、英語授業でプレゼンテーションを取り入れるための工夫を考える。

●文部科学省提出報告・受講者評価結果(49名受講：4段階評価)

4：よい(十分満了した。十分成果を得られた)

3：だいたいよい(満了した・成果を得られた)

2：あまり十分でない(あまり満了しなかった・成果を得られなかった)

1：不十分(満了しなかった・成果を得られなかった)

①本講習の内容・方法についての総合的な評価

平均値：3.84(評価4：41人、評価3：8人、評価2・1：なし)

②本講習を受講しあなたの最新の知識・技能の修得の成果についての総合的な評価

平均値：3.69(評価4：35人、評価3：13人、評価2・1：なし)

③本講習の運営面についての評価

平均値：3.90(評価4：44人、評価3：5人、評価2・1：なし)

受講者のコメント(受講者49名から一部紹介)

- ・東條先生のジャンル分析、中井先生の英語のプレゼンテーション、どちらの講習もとても参考になりました。ジャンル分析では、ジャンルという考え自体、目から鱗の状態で、生徒達に今までと違ったアプローチができました。プレゼンテーションでは、中井先生の楽しいお人柄に引き込まれ、楽しく有意義な時間を過ごしました。私たちより若い学生さんたちの方が、上手くPower Pointを使いこなしている姿に私も学ばねばと反省もしました。
- ・両講習とも、大変勉強になりました。東條先生…確かにジャンル分析毎のmoveを意識することで文章を読むスピードが上がり、立体的に読むことにより主張が伝わりやすくなり、理解も深まると思いました。また、それを応用して文章を作成することもできると思いました。中井先生…具体例をたくさん示して下さい、大変楽しく学ばせていただきました。授業で応用させていただきます。ありがとうございました。
- ・頭の中でぼんやりと描いていたプレゼンテーション・スキルが具体的な形となって知識として学ぶことができました。また、今までに気がつかなかったことも多々ありました。貴重な講習をありがとうございました。
- ・本日は有意義でとてもなる講座を聴かせていただきありがとうございました。東條先生の「効果的に英語で発信する仕組みと工夫」のお話の中では、「ジャンル分析」という今まで自分の意識の中になかった発想を教えていただき、目から鱗でした。助動詞についても新たな目線をいただきました。「効果的な英語プレゼンテーションを行うために」のお話の中では、中井先生のアイデアの豊かさや何事も授業やプレゼンテーションに活かせるという目線と行動力に感動させられました。自分も授業で10年以上パワーポイントを使って授

業をしてきたのですが、もっと生徒や聴き手に効果的に伝わるプレゼンテーションをするためのattitudeを学ばせていただきました。様々なものを吸収し、素材を選び、構成すること、そしてその根底に不可欠なのは、聴く人々の視線や気持ちであることを再認識させていただきました。ありがとうございました。また、機構の職員の皆様の細やかな心配りやアンケートの集約、研究誌の発送などにも感謝いたします。

- ・英語の授業で、早速取り込みたいと思う内容がたくさんありました。やはり、一方的な講義形式の授業だけでなく、生徒自身に考えさせ、工夫し、アウトプットさせることがとても大切だと改めて感じました。そのためにも、日頃、私自身も教材研究や英語力を付ける努力も必要だと思いました。全体的に、最初から最後まで興味深く全く眠くならず本当におもしろい内容でした。私は1日しか受講できませんが、もう一日受けたいと思うほどでした。ありがとうございました。
- ・最初何だか難しそうな内容だなと思って聴かせていただいていたが、両先生の発信力には本当に驚きました。私自身、あんな風に素晴らしい授業に少しでも近づける授業ができればいいなと思いました。私はまだ英語漫画とYouTube、CDデッキを使う程度で、あんな風で大画面で授業ができればうれしいと思います。完成形だけでなく、先生方がパワーポイントを使われたときの途中経過やノウハウを別の機会にまた教わりたいと思いました。
- ・今後の授業に活かせるような考え方やアイデアをいくつかいただけたので、大変有意義な講習であったと思います。東條先生の「ジャンル分析」では、私自身、これまでジャンルを意識した指導が十分にできていませんでしたが、これを使うと生徒に分かりやすい指導ができることに気がきました。中井先生の講義では、プレゼン指導のポイントが分かりやすく解説されていたので、今後の指導にすぐに活かせると思います。プレゼン指導は時間がかかるので、これまであまり取り入れていませんでしたが、今年は取り組みたいと思います。ありがとうございました。
- ・1日があっという間でした。東條先生のお話、わかりやすかったです。共感できることが沢山ありまして、授業活かせるヒントを沢山いただきました。ジャンルというものを意識することで、ぐっとわかりやすくも教えやすくなりました。中井先生のお話も、先生のプライベート満載?!で親しみやすく楽しい講義でした。実際のプレゼンテーションの例も沢山見せてくださって、授業で実際に実践する際に大変参考になるお話でした。生徒が自ら発信すること、人前で話すことの大切さはわかっているつもりですが、なかなか授業で活かすことができず、試行錯誤の日々ですが、とにかくやってみよう!という気持ちになりました。ありがとうございました。

講習 2 8月4日(火)

担当：夫 明美、東條加寿子、中井弘一

■講座のねらい

第一部「発音・音読指導」では、英語の発音を理解し発音指導の素地を教師自身が形成するために、音素の生成過程や音のつながりの仕組みを理解し、教室で使用されているテキスト・絵本などを用いた体験型ワークショップを通して、発音向上のための練習を行う。また、音読指導のヒントについて考える。

第二部「生きた音声素材の教材化の工夫」では、リアルタイムでメディアから取り入れることが容易になった英語音声素材の教材化を考える。英語の歌、ニュースや演説、インタビューなどの英語音声素材を生徒のレベルに適した教材として作成する際に必要な観点や工夫を、教材化の演習を通して考える。

第三部「学習補助教材作成の工夫」では、読解教材で育成したい技能や語彙・文法を対象生徒に応じる習得目標を設定した上で、段階的なワークシートや学習補助教材を作成する在り方やその工夫を、教科書や実物素材などを使って教材作成するワークショップを通して考える。



●文部科学省提出報告・受講者評価結果 (53 名受講 : 4 段階評価)

①本講習の内容・方法についての総合的な評価

平均値 : 3.51 (評価 4 : 29 人、評価 3 : 23 人、評価 2 : 1 人)

②本講習を受講しあなたの最新の知識・技能の修得の成果についての総合的な評価

平均値 : 3.58 (評価 4 : 33 人、評価 3 : 19 人、評価 2 : 1 人)

③本講習の運営面についての評価

平均値 : 3.74 (評価 4 : 41 人、評価 3 : 11 人、評価 2 : 1 人)

受講者のコメント (受講者 53 名から一部紹介)

- ・「発音・音読指導」は夫先生の発音の素晴らしさと私たちに対する教え方が丁寧でとても分かりやすかったです。特に顔の絵を描いて舌の動きを表すのはとても良いと思いました。英語らしい発音に向けて知らないことも多く、とても勉強になりました。ありがとうございました。「生きた音声素材の教材化」では、昨日と引き続き東條先生に教えていただき、タイムリーな話題で生徒を引きつけることが大切だということがわかりました。ありがとうございました。「学習補助教材の工夫」では、中井先生のデータの分析に圧倒されました。昨日に引き続き、とても熱心で情熱を持って大学でも授業されている様子がわかりました。スタッフの方にも、色々親切にいただき、楽しく勉強になった 2 日間でした。本当にありがとうございました。
- ・今回は特に発音・音読を自身復習し教えられるようになりたいと受講しました。プリント教材・指導はなかなか良かったのですが、せっかくですのでもっと声に出して練習したかったです。教材作成の工夫ですが、正直スピードが速すぎるのと提示内容が多すぎて何を学んだのか…と最後集中力がなくなりかけました。まずは最初に何が大事なのか伝えていただけるとあのサンプルも分かりやすかったのですが…教材例集は助けとしてゆっくり見たいと思います
- ・中井先生の講義をもっとゆっくりじっくり受けたかったです。日頃、「思い込み」で作っている教材をもう一度見つめ直そうと思いました。
- ・自分が欲しかった要素 (英語の発音技術、iPad ですぐに使えるような方法、学習補助教材作成のコツ・ネタ集) がほぼすべて詰まっていた、予想以上の成果を得ることができました。ありがとうございました。同僚の先生にも大阪女学院大学の講習を勧めたいと思います。
- ・今回、二日間受講させていただきました。どの講習の先生方の温かい人柄の表れた講習で楽しく充実したものにになりました。お茶とお菓子の準備、また立派な資料等、本当にありがとうございました。時間に限りがあると思いますが、受講者が現在使用しているワークシートや教材を持ち寄って、少しでも交流ができれば、なお良かったと思います。また、勉強会にも参加させていただきたいと思います。
- ・「学習補助教材作成の工夫」は具体例も豊富で大変分かりやすかった。内在的動機について、自転車の練習にたとえて話されたのは面白く、また改めて「乗って〇〇に行きたい」と思える授業づくりをしなければと思った。ありがとうございました。
- ・音声学から実際の授業での運用の例まで幅広く学ぶことができました。午後の授業は、実際の授業で活かせる例も多く、もっと時間があれば…と思いました。残念です。ですが、多くの資料をいただいたので持ち帰って今後の授業の参考にさせていただきます。
- ・夫先生の講習では音声学の中で特に指導に重要なことを短い時間にたくさん教えていただいて大変興味深かったです。ありがとうございました。東條先生には、印象的なソフトを教えていただきました。他にもさらに色々なソフトのことを知りたかったです。中井先生のお話は、準備して下さった資料が大量で、語り口も情熱的、先生の発しておられるエネルギーそのものが良いお手本となりました。ありがとうございました。
- ・夫先生の講習はすぐに使える、すぐ役に立つ講習内容でとても満足しています。東條先生の講習では、iPad の使い方を学びましたが、生徒・学生の performance の評価方法なども知りました。中井先生の講習は、現場を踏んだ人の視点で、楽しく、役立ちそうなプリントをお土産にくださるので、今後の教育活動に役立ちそうです。



大阪女学院大学授業デザインスキルアップ演習・現職教員支援講習

2015 年 8 月 8 日 (土) 10:00-16:30

“アクティブ・ラーニングとは何か、その方略を考える”

午前：“アクティブ・ラーニングとは何か、その方略を考える”

午後：“教科書や教材をもとにアクティブ・ラーニングの実習”

“討論：アクティブ・ラーニング導入・活用の工夫”

参加者：32 名

担当：中井弘一

参加教員コメント (一部紹介)

- ・いつも、いつも大量の資料をもとに、深い内容のご講義を頂き大変勉強になります。Active Learning という言葉の表面的なイメージや、よく示される探究学習のような指導例にばかり目が行くのですが、より深く広い視野で Active learning について考え捉えることができました。確かに一方的な講義だけではダメですが、学ぶべき内容や方向性をしっかりと示すことは講義型であれ、活動型であれ大切なことで、生徒の学びの段階に応じて、それぞれを使い分け、生徒と同じ方向を向きながら学習を進めていきたいと考えさせられました。評価についての話や実際の教材をもとにした実習など、豊富な資料集とともに大変学びの多い一日になりました。
- ・アクティブラーニングという考えが広まっている中、一般的に言われている「生徒主体・能動的」などの言葉だけを拾っているだけではわからない。もしくは勘違いをしてしまいがちな本当の意味でのアクティブラーニングとはなにかということを考える良いきっかけになりました。教師の理念をベースに、本日いただいた驚くほどたくさんの例や tip を参考にさせていただいて自分の教えているクラスの生徒に適したアクティブラーニングを考えていきたいと思いました。
- ・中井先生がこの講習を行うにあたり、様々な書籍や論文を読まれて資料をまとめていただき、講習は大変分かりやすいものでした。受講者である私をもっと active に同じように事前に何かの課題を持って参加すべきであったと反省しております。アクティブラーニングを用いた授業をするにあたり、どのような授業を行い、それを行うためのこれまで行ってきた活動をどう関連づけていくかを考える良い機会になりました。私たちが事前にもっとこのアクティブラーニングを勉強してきて、更にこの受講後に振り返りをして、どう目の前の生徒や授業に活かしていくかを考えて行く機会となりました。
- ・言葉ばかりが独り歩きしているようなアクティブラーニング。あれもアクティブこれもアクティブ。「アクティブに非ずば授業に非ず」の勢いですが、何だか紅茶キノコか地中海ヨーグルト、ぶら下がり健康法を思わせる昨今、先生の講義を拝聴し、日頃のモヤモヤが晴れました。全く同感の思いです。迷わずぶれず授業に臨んでいきます。ありがとうございました。パワフルな先生にたくさんの元気と知恵をいただきました。感謝です。
- ・アクティブラーニングの方略については、アクティブラーニングのなり立ちを始め、既知の指導方法に加えて、Inactive, Reactive, Proactive などのアクティブラーニングの多面性についても触れることができ、本当の学びにつなげるために、いかに日常の授業準備が大切な、改めて認識を強くした。集中的にアクティブラーニングのことを考える貴重な時間となり、私の授業計画においても、今日教えていただいた理論を意識し、「単に話し合うことがアクティブラーニングではない」ということをよく考えて少しでも「生徒ともにつくる授業」を進めたい。

